

事業概要【瑞穂町自動運転移動サービス実装事業】

申請者	東京都瑞穂町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	318,377千円 (128,717千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	自動運転技術の導入により公共交通を再編する。これにより、運転士不足への対応、交通事故の減少（安全性の向上）ダイヤの改善、運行頻度向上等を進め、持続可能かつ利便性の高い公共交通網を形成する。地域住民のみならず、通勤・通学者の交通利便性やモノレール延伸部における新たなまちづくりの効果を高め、町の発展に寄与することを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○燃料費・電気代 191千円 ○自動運転システム保守・運用費 5,390千円 ○車両調律費 2,068千円 ○運営経費 12,727千円 ○リスクアセスメント費 1,540千円 ○その他 2,301千円 【施設整備・事業設備・備品経費】 ○車両購入費 104,500千円						
地域の多様な 主体の参画	・認知度向上、社会的受容性の向上等のため、大学、町内小学校等と協働し、出前講座、アンケート等を実施 ・地域包括連携協定を締結した町内の企業にて、イベントの開催、広報・PR活動の協力等、協働のまちづくりを推進 ・モノレール延伸沿線自治体で広域連携したまちづくりを推進 ・町内会と連携した出張説明会等					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①瑞穂町の人口（-175人） ②コミュニティバス乗車人数（+7,500人） ③自動車保有台数（-323人） ④自動車による人身事故件数（-3人） ⑤乗車後の自動運転サービスへの印象のうち、安心・やや安心の割合（+22%）